

去る 4月10日 公益社団法人日本プロスキー教師協会(SIA)最高顧問である
杉山 進さん(享年93歳)がご逝去されました。
ご冥福をお祈りするとともに謹んでお知らせ致します。

杉山 進さんを偲んで



SIA第5代会長杉山進さんのご靈前に、SIAを代表して、謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

SIAの監事に私が就任したのは、杉山進さんが1996年にSIA会長に就任された前の年の1995年、今から30年前になります。

スキー教師ではない私に、杉山会長はスキー界のことを、ご自身の体験を含め、ご教示くださいました。

SIAの会議の後の飲み会では、いつも隣の席を勧めてくださり、会議では聞けないインターライフまたはISIAでの逸話や、1981年に文部省から、社団法人設立が許可された時の驚きと喜びを、聞かせてくださいました。

時には、もう一軒行きましょうと誘われて、終電間際まで飲んだことが懐かしく思い出されます。

2000年になると、価値観の多様性から、SIAの使命や行動指針となる理念が求められるようになりました。

杉山会長は、率先して理念の制定を進め、当時総裁であらせられた故三笠宮寛仁新王殿下から、一字一句チェックを頂き、2001年に「SIAの理念」が制定されました。

「SIAの理念」は、総会、理事会等多くの場で唱和され、SIAの道しるべとなっています。

2002年には、SIAの事業の資金集めに最も貢献したと讃えられた今は亡き小滝頼介さんを中心に、障がい者スキー指導の取り組みが始まりました。

2003年には、SIAの努力家と称賛された児玉栄一さんを中心に、スキー教程オフィシャルメソットが発刊され、スキー指導の充実が図られました。

その後、第6代会長馬渕雄一さん、専務理事黒川正博さんのとも、2011年に内閣府から公益社団法人として認定され、2018年には、三笠宮彬子女王殿下のご臨席を賜り、第7代会長中島英臣さんのとも、50周年式典を迎えることができました。

これも杉山進さんが、プロスキー教師の団体としてSIAを設立し、今までSIAを導いていただいた賜物です。深く感謝を申し上げます。

そして、今は、ご子息の杉山公信さんが第8代会長です。

SIAが設立された1968年の頃は、杉山進さんはじめ先人の方達が、オーストリーをはじめとする欧米のスキー技術や指導法を日本にもたらしました。

3年後に60周年を控えた2025年の日本のスキー場は、アジアのスキー場になり、日本のスキー指導法を伝える立場になりました。

これからは、公信さんが先頭に立って、SIAが世界に向かって日本のスキー指導法を発信し、発展していく様子を、天国から見守ってください。

最後に、SIAに杉山進さんと、30年の年月を与できたことは、私にとって掛け替えのない経験であり、幸せなことでした。

本当に、ありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。